

と やま 輝く!! 富(む)山の仕事人!!

川上～川下まで、森林・木材に関わる様々な分野で頑張る人を紹介します。

富山県西部森林組合高岡支所 協力業者技術員 吉田 哲さん

富山県西部森林組合高岡支所管内で森林作業道開設を主な仕事とする吉田哲さんを紹介いたします。



よしだ てつ 吉田 哲さん

関係者の中では、「哲さん」の呼び名で仲間から慕われている、現在72歳の道づくりのスペシャリストです。

平成19年まで、ご自身で土建業を営まれてこられ、その後は、森林組合発注の森林作業道開設・補修・補強作業を請負われています。

哲さんにお伺いしたところ、「これまでの大半を道づくり一本でやってきた。」とのこと。また、「最小限の人数」で行うことを効率的な作業の基本として、現在は、2人体制で作業をしておられます。

1 道づくりの技

バックホーの操作中、土の中の障害物が手に取るように分かるとのこと。些細な油圧や音の変化を敏感に感じ取ることが出来ることで、初めて繊細な道づくりが可能であると、お話を聞き痛感しました。

2 道づくりの心がけ

「道づくりにおいて、最も心がけているのは、作業道を利用する仲間が、安全で効率的な作業が出来ること。」だそうです。

丁寧な施工により路面に雨水が溜まらないようにする、路面に軟弱化防止の横断片勾配(谷川への自然排水)を設ける、盛土箇所は最小限とする、土質に応じた線形の変更等を提案するなど、これまでに培った経験を活かして、皆に喜ばれる道づくりをされています。

3 道づくりでの恐怖体験

開設作業中に、足元路盤(バックホー履帯部片側)が崩れ機体ごと滑り落ちかけた時、とっさにバケットを使い機体を安定させ、近くにいた仲間助けられ事なきを得たことがあるそうです。その時の経験が、現在の安全作業重視の姿勢に生かされています。

4 森林・林業への思い

山は荒れ、所有者も不明なところが増えている。作業道を作ることで山の手入れが進み綺麗になっていくお手伝いしているだけですとあくまで謙虚な哲さんでした。



路面を転圧する吉田さん



根株を掘り起こす吉田さん

道づくりの高度な技術とノウハウに基づいて造られる道により、地域の森林整備をしっかりと支える哲さんの、今後益々の活躍をご祈念申し上げます。

文責 高岡農林振興センター森林整備課林政・普及班